

2022（令和4）年度 社会福祉法人白鷺事業報告書

はじめに

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から第2類から第5類に引き下げられ、感染拡大防止は法人の責任として取り組まなければならない。その基本として、今年度、経験したクラスターから学んだ自己管理と報告義務の重要性を再確認し、職員一人一人が感染源とならないための意識の向上を図っていききたい。

社会福祉法人として地域の福祉ニーズに応えることが最優先の使命と捉え、既存のグループホームやショートステイの利用が難しい人たちの住まいの場となるグループホーム創設の実現に向けてJKAに補助申請を行ったが、残念ながら年度末に不採択の通知を受け取った。不採択にはなったが、地域の福祉ニーズに変わりはなく、一日も早い実現を望んでいる利用者・家族の期待に応えるため、借入を含めた自己資金により創設計画を進めていくことを決意する。そして、令和5年度には、「誰でもが安心して利用できるグループホーム」の運営をスタートできるように取り組んでいく。

グループホームの創設と並行して、介護保険優先となる65歳以降も、引き続きあんずの家を利用していただけるよう介護保険法による通所介護事業が行えるよう令和4年3月23日付で共生型サービスの指定を受け、直ちに定款変更の申請を行い、令和5年4月1日付で認可を受けた。令和5年度からの事業開始が可能となったが、利用を予定していた人の「できることの継続」が可能な介護保険事業所が市内にないことから、引き続き障害福祉サービスである生活介護が利用できることとなったため、共生型事業の実質的なスタートは見送ることとなった。しかし、来る日に備えて、高齢障害者へのケアの研鑽、研究に取り組んでいかなければならない。

地域における公益的な取り組みにおいては、新たに広島県災害派遣福祉チーム（広島DWAT）へのチーム員登録を行い、計3回の養成研修に参加した。DWATは大規模災害の際に設置された避難所で、生じる福祉ニーズに対応するための専門職チームで、市町の要請に基づいて県から派遣される仕組みとなっている。被災された地域復興の一翼を担えるよう準備しておくことも社会福祉法人の大切なミッションと捉え、今後も取り組みを継続していく。

人材確保については、処遇改善加算、特定処遇改善加算、特例処遇改善加算・ベースアップ等支援加算を取得し、それぞれの要件に沿って手当や一時金として対象職員に支給し、定着率の向上を図った。

1. 法人事業

① 地域における公益的な取り組み

▶地域の他機関とのネットワーク活動

福山市地域福祉貢献活動協議会に参画し、くらしの相談窓口を開設し、地域のニーズに対応していけるようにしているが、令和4年度における実績はない。

発災時における施設間での相互協力を目的とした「広島さっそくネット」に参加し、エリア内の業種間での情報の共有化や、県社協を核とする情報の収集を目的としたシミュレーションに参画した。

② 事業運営の透明性向上への対応

財務諸表、定款、役員名簿などをインターネット上で公表することが義務化されており、自法人のHP、全国社会福祉法人経営者協議会のHP上で公開を継続している。

また、現況報告書、障害福祉サービス等情報公表制度はWAMネット上にて公開している。これらの情報は、利用者が個々のニーズに応じて良質なサービスを選択できるようにすることや、事業者によるサービスの質の向上を目的としていることから、今後も適切に対応し事業運営の更なる透明化向上に努めていく。

③ 人材確保

働きやすい職場づくりや人材育成、サービスの向上に取り組んでいる事業所の証として、広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会が実施している認証制度「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」において、スタンダード認証法人を取得した。これにより上記協議会のホームページに、認証取得法人として当法人名が掲載された。

2. 年間実施事業

① 理事会の開催

開催年月日	議 題
令和4年5月20日	令和3年度事業報告承認について 令和3年度会計決算承認について 社会福祉充実残額の確定について 経理規程改定について 定時評議員会開催日程及び議題について
令和4年11月20日	事業計画の進捗状況について 予算の執行状況について 補正予算について あんずの家運営規程変更について あんずの家共生型指定申請について 共生型移行に伴う定款変更について 育児・介護休業規程改定について 臨時評議員会召集について
令和4年3月15日	令和4年度補正予算について 令和5年度事業計画について 令和5年度資金収支予算について あんずの家運営規程変更について 予算定時評議員会の日程及び議題について「

② 評議員会の開催

開催年月日	議 題
令和4年6月16日	令和元年度会計決算承認について 社会福祉充実残額の確定について
令和4年12月1日	共生型移行に伴う定款変更について 補正予算について
令和5年3月30日	令和4年度補正予算(案)について 令和5年度事業計画(案)について 令和5年度資金収支予算(案)について

③ 監事監査

令和4年5月13日 西山監事、江草監事、林誠理事長

④ 研修会への参加

「広島県経営協セミナー」

林理事長

令和4年7月26日、令和5年2月10日

「令和4年度 社会福祉法人監事研修」

～監事の役割を理解し、監査のポイントを学ぶ～

江草監事

令和5年2月10日～ 動画配信

「令和4年度社会福祉法人理事・評議員研修」

- ① 社会福祉法人を取り巻く情勢と今後の経営課題
- ② 地域における社会福祉法人に期待される役割
- ③ 社会福祉連携推進法人の背景や概要等

林理事長

令和4年3月8日～ 動画配信

実施した。皮膚疾患の発見や、薬の塗布等、家庭と連携をとりながら適切な対応に努めた。

④健康管理：年度初めに、緊急時情報カードの書き換えを行い、服薬等の情報を最新のものにし、服薬管理及び救急搬送時への備えを整えた。

また、感染症の予防対策として、登所時の手指消毒、排泄後、昼食前の手洗いと消毒を年間通して行った。また、到着後には、血圧、体温、SP02のバイタルチェックを行うとともに、昼食後の検温により体調管理に努めた。この他、体重測定を月1回実施し、体重が大幅に減少している人には、かかりつけ医での検診を勧め、原因の早期発見に努めた。

⑤医療的ケア：あんずの家における医療的ケア実施要綱に基づき、胃ろう、喀痰吸引の医療的ケア実施希望者4名に医療的ケアを実施した。実施にあたっては、保護者が家庭において実施されている手順、内容と違いがないよう情報交換を密にした。

(2) 活動を支える

①生産活動【総収入額：422,504円／総支出額：462,584円】差引-40,080円

※前期末残高1,209,110円から赤字分を引いた当期末残高は1,169,030円。

・さをり織り【売上高：408,494円 原材料費：132,264円 差引276,230円】

令和4年度も市内の施設で共同受注した福山市敬老の日特別記念品制作において、布の提供を行うことができた。その他、虹の手織り展や県立博物館での委託販売での売り上げもあったが少額にとどまった。

・印刷（名刺印刷など）【売上高：14,000円 原材料費等：0円 差引14,000円】

長年受注を受けている名刺の印刷や、手形アートの著作権として5,000円の収入があった。

※上記の生産活動にかかわった利用者には、工賃として年間330,320円支給した。

②レクリエーション

・利用者さんお一人おひとりが、集団の中で楽しめるようゲームを考案し実施した。その中で参加する喜びや、勝つことの嬉しさを味わっていただけるよう支援した。また、個々の楽しめることにも取り組んでもらおうと、個別の活動も行った。

2. 利用者の状況

(1) 月別利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	20	22	22	22	21	22	22	20	20	20	23	256
基準人数	440	400	440	440	440	420	440	440	400	400	400	460	5120
登録者数	18	19	18	18	18	19	19	18	19	19	19	20	—
延利用者数	341	306	338	331	315	309	336	306	291	325	314	360	3872
利用率	77.5%	76.5%	76.8%	75.2%	71.5%	73.5%	76.3%	69.5%	72.7%	81.2%	78.5%	78.2%	75.6%